

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-506151 (P2005-506151A)

【公表日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報 2005-009

【出願番号】特願 2003-537695 (P2003-537695)

【国際特許分類】

**A 6 1 L 31/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/5377 (2006.01)**

**A 6 1 F 2/84 (2006.01)**

**A 6 1 P 7/02 (2006.01)**

**C 0 7 D 413/14 (2006.01)**

**A 6 1 L 33/10 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 L 31/00

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 M 29/02

A 6 1 P 7/02

C 0 7 D 413/14

A 6 1 L 33/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

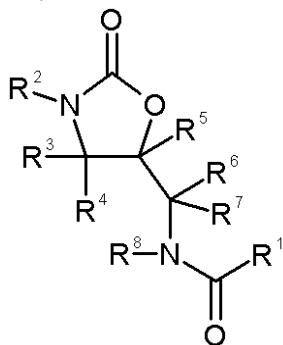
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 またはそれ以上の式 (I)

【化 1】



式中、

R<sup>1</sup> は、塩素、臭素、メチルまたはトリフルオロメチルの群からの基により 5 位で置換される 2 - チオフェンであり、

R<sup>2</sup> は D - A - であり

[ ここで、

基「A」はフェニレンであり；

基「D」は、窒素原子を介して「A」に連結されている飽和の5 - または6 - 員のヘテロ環（これは、連結する窒素原子に直接的に近接してカルボニル基を有し、そして、環炭素員は、S、NおよびOの系列からのヘテロ原子により置き換えられ得る）であり；

ここで、上記定義の基「A」は、フッ素、塩素、ニトロ、アミノ、トリフルオロメチル、メチルまたはシアノの群からの基により、オキサゾリジノンへの連結に対してメタ位で1回または2回置換されることもある、

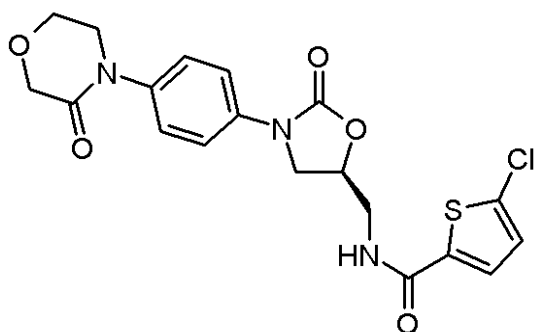
$R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$  および  $R^8$  は、水素である、

の化合物、それらの薬学的に許容される塩、水和物および/またはそれらの混合物を含むステント。

【請求項2】

化合物が、式

【化2】



の5 - クロロ - N - ( { ( 5 S ) - 2 - オキソ - 3 - [ 4 - ( 3 - オキソ - 4 - モルホリニル ) フェニル ] - 1 , 3 - オキサゾリジン - 5 - イル } - メチル ) - 2 - チオフェンカルボキサミド、それらの薬学的に許容される塩、水和物および/または混合物であることを特徴とする、請求項1に記載のステント。

【請求項3】

さらなる膜により被覆されている、請求項1または請求項2に記載のステント。

【請求項4】

少なくとも1の他の有効成分を含む、請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のステント。

【請求項5】

P T C A 後の再狭窄の処置用の、請求項1ないし請求項4のいずれかに記載のステント。

【請求項6】

P T C A 後の血栓症の処置および/または予防用の、請求項1ないし請求項4のいずれかに記載のステント。

【請求項7】

ステントの産生のための、またはステントの産生における、請求項1で定義される式(I)の化合物の使用。

【請求項8】

再狭窄および/または血栓症の処置および/または予防用のステントの産生のための、請求項1で定義される式(I)の化合物の使用。

【請求項9】

ステントが1またはそれ以上の請求項1で定義される式(I)の化合物で被覆または充填されることを特徴とする、ステントの産生方法。

【請求項10】

1またはそれ以上の請求項1で定義される式(I)の化合物を含む重合性担体材料がステントに成形されることを特徴とする、ステントの産生方法。

【請求項11】

1またはそれ以上の請求項1で定義される式(I)の化合物およびステントの同時使用

による、再狭窄動脈を有する患者の処置方法。

【請求項 1 2】

請求項 1 で定義される式 ( I ) の化合物が、ステント中または上に存在し、局所的に放出されることを特徴とする、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

再狭窄および / または血栓症の処置および / または予防に適する他の有効成分の局所および / または全身的投与と組み合わせた、請求項 1 ないし請求項 6 のいずれかに記載のステントの使用による、再狭窄および / または血栓症の処置および / または予防方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 で定義される式 ( I ) の化合物の全身的投与と組み合わせた、請求項 1 ないし請求項 6 のいずれかに記載のステントの使用による、再狭窄および / または血栓症の処置および / または予防方法。